



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月11日

上場会社名 株式会社メディックグループ 上場取引所 東  
 コード番号 2369 URL <http://www.medibic.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 康弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 門井 豊 TEL (03) 6415-4031  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績 (平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	135	△21.7	△134	—	△136	—	△148	—
21年12月期第2四半期	173	—	△227	—	△226	—	△216	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	△838 42	—
21年12月期第2四半期	△1,226 79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	368	281	73.8	1,512 34
21年12月期	475	396	80.6	2,176 55

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 271百万円 21年12月期 383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0 00	—	0 00	0 00
22年12月期	—	0 00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想 (平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	220	△17.3	△250	—	△250	—	△241	—	△1,357 00	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 ー社 ( )、除外 ー社 ( )

(注) 連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無  
② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数（四半期累計）

22年12月期2Q	179,542株	21年12月期	176,242株
22年12月期2Q	ー株	21年12月期	ー株
22年12月期2Q	177,598株	21年12月期2Q	176,242株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P. 3
2. その他の情報 .....	P. 4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	P. 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	P. 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	P. 4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	P. 4
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	P. 7
【第2四半期連結累計期間】 .....	P. 7
【第2四半期連結会計期間】 .....	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 10
(5) セグメント情報 .....	P. 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 13

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出産業の持ち直し、設備稼働の回復など一部企業収益に回復の兆しは見られたものの、依然として雇用情勢、個人消費の低迷は続いており、先行きの不透明な状況のうちに推移いたしました。

このような状況のなか当社グループでは、「事業再生プラン2009」に則った、高収益事業への経営リソース集中、コストの削減、ならびに新たなサービスソリューションの構築などを推進してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は以下のとおりとなりました。

売上高	135,583千円	(対前年同期増減 37,685千円減)
営業損失	134,394千円	(対前年同期増減 93,041千円減)
経常損失	136,587千円	(対前年同期増減 90,024千円減)
四半期純損失	148,901千円	(対前年同期増減 67,309千円減)

#### <バイオマーカー創薬支援事業>

バイオマーカー創薬支援事業におきましては、PGx試験支援サービス、RNA増幅試薬の販売、情報処理システム開発、治験コーディネイトサービスなど基盤技術であるPGx技術またはそれに関連する事業を推進しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、PGx試験普及が順調に拡大しつつあるなか大手製薬メーカー、医療・研究機関に向けて検体バンキング、受託解析、検体管理・二次匿名化システムなどトータルマネジメントサービスのほか、RNA増幅薬の販売などの営業を展開してまいりました。さらに、PGx基盤技術領域で培ってきたシステム構築技術を活用して開発したパッケージソフトウェア『MDSS 配合設計データベース』におきましても、引き続きゴム業界を中心に、さらに化学系素材開発分野にも営業領域を拡大いたしました。

以上の結果、バイオマーカー創薬支援事業の売上高は79,816千円、営業利益7,917千円となりました。

#### <テーラーメイド健康管理支援事業>

テーラーメイド健康管理支援事業におきましては、基盤技術における経験やノウハウをベースとした個人向け健康・医療市場におけるサービスの提供を中心に事業を推進しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、「DNAプライベートバンク」のフルサービスはブランドとして継続しつつ、さらに多くの方にご利用いただける新たなソリューションの企画・構築を行ってまいりました。その取り組みとして「アルツハイマー体質検査」のみの限定販売、健康サポートサプリメントの試験販売などを実施し、今後の事業化に向けたソリューション構築に有用なマーケティング情報を収集することができました。

以上の結果、テーラーメイド健康管理支援事業の売上高は4,487千円、営業損失12,769千円となりました。

#### <創薬事業>

創薬事業におきましては、抗がん剤「Glufosfamide (グルフォスファミド)」の臨床開発を中心に事業を推進しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、引き続き第Ⅱ相臨床試験に向けた新規開発パートナーとの共同開発、及び当該化合物のライセンスアウト等についての検討を行ってまいりました。スレッシュ

ホールド社から米国における開発、販売権を譲り受けたエリソン社によるグルフォスファミド開発の進展は当社事業におきましても良好に作用するものと期待しており、その動向を注意深く見守っている状況であります。

したがいまして、創薬事業の売上高計上はございません。

<投資・投資育成事業>

投資・投資育成事業におきましては、営業投資有価証券の売買、ファンドの運営管理を行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、営業投資有価証券の売却を進めてまいりましたが、株式市場が依然として不安定な状態が続くなか、投資先企業の業績不振などによる証券の流動性悪化、売買価格の下落など厳しい状況が続いております。

これらにファンド管理運営報酬を含めまして投資・投資育成事業の売上高は51,279千円、営業損失46,258千円となりました。

<その他事業>

その他事業として、特記すべき売上計上はございません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産、負債及び純資産の状況>

当第2四半期連結会計期間末における総資産は368,043千円となり、前連結会計年度末に比べ107,753千円減少いたしました。主な要因といたしましては、営業投資有価証券の減少80,793千円、貯蔵品の減少5,910千円、敷金及び保証金の減少18,866千円によるものであります。

負債は86,913千円であり、主に前受金の増加19,991千円、その他流動負債の減少3,352千円により、前連結会計年度末に比べ7,667千円の増加となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ115,420千円減少し、281,129千円となりました。これは新株予約権の行使に伴い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ17,248千円ずつ増加したこと、四半期純損失148,901千円の計上によるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4,661千円増加し、36,676千円となりました。当第2四半期連結累計期間の概況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは25,785千円の支出となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失147,921千円及び営業投資有価証券の減少84,640千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,884千円の支出となりました。これは主に、関係会社出資金の分配による収入6,384千円、貸付けによる支出10,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、32,354千円の収入となりました。これは、新株予約権の行使に伴う株式の発行による収入32,429千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年8月10日付「特別利益（投資有価証券売却益）の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」におきまして公表いたしました平成22年12月期の連結業績予想数値のとおりであります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度まで継続して営業損失、経常損失、当期純損失、及び営業活動によるキャッシュ・フローにおきまして継続してマイナスを計上しており、当第2四半期連結累計期間におきましても営業損失134,394千円、経常損失136,587千円、四半期純損失148,901千円、営業キャッシュ・フロー△25,785千円を計上するに至っております。

当社グループにおきましては、当該状況を解消すべく、安定した財務基盤の確立に向けて「事業収益の拡大」および「資産のキャッシュ化」を経営の柱として取り組んでおります。

しかしながら、現時点におきましては、未だ各種施策の実施途上であり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,676	32,015
受取手形及び売掛金	19,850	23,081
営業投資有価証券	241,461	322,255
投資損失引当金	△33,083	△35,243
商品及び製品	1,352	777
仕掛品	27,839	29,144
貯蔵品	721	6,632
株主、役員又は従業員に対する短期貸付金	10,000	—
その他	11,059	20,497
貸倒引当金	△4,810	△4,810
流動資産合計	311,068	394,349
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	6,142	490
有形固定資産合計	※1 6,142	※1 490
無形固定資産		
その他	144	144
無形固定資産合計	144	144
投資その他の資産		
投資有価証券	24,177	33,613
出資金	15,335	16,030
関係会社出資金	522	522
敷金及び保証金	10,728	29,595
その他	3,459	4,586
貸倒引当金	△3,535	△3,535
投資その他の資産合計	50,688	80,812
固定資産合計	56,974	81,446
資産合計	368,043	475,796

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,299	3,095
未払費用	14,088	19,145
未払法人税等	6,102	8,220
前受金	55,673	35,682
受注損失引当金	—	1,884
その他	7,863	11,216
流動負債合計	85,028	79,245
固定負債		
受注損失引当金	1,884	—
固定負債合計	1,884	—
負債合計	86,913	79,245
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,075,640	2,058,391
資本剰余金	2,608,837	2,591,588
利益剰余金	△4,352,349	△4,203,447
株主資本合計	332,127	446,532
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△60,599	△62,932
評価・換算差額等合計	△60,599	△62,932
新株予約権	9,068	12,265
少数株主持分	532	685
純資産合計	281,129	396,550
負債純資産合計	368,043	475,796



(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	173,269	135,583
売上原価	120,478	127,587
売上総利益	52,791	7,996
販売費及び一般管理費	※1 280,226	※1 142,390
営業損失(△)	△227,435	△134,394
営業外収益		
受取利息	233	40
為替差益	498	—
その他	1,152	262
営業外収益合計	1,884	303
営業外費用		
支払利息	144	—
持分法による投資損失	714	—
賃借料	—	1,596
その他	201	899
営業外費用合計	1,060	2,496
経常損失(△)	△226,611	△136,587
特別利益		
投資損失引当金戻入額	—	2,160
新株予約権戻入益	—	1,128
受注損失引当金戻入額	11,400	—
特別利益合計	11,400	3,288
特別損失		
固定資産廃棄損	—	165
本社移転費用	—	9,010
投資有価証券売却損	—	5,447
特別損失合計	—	14,623
税金等調整前四半期純損失(△)	△215,211	△147,921
法人税、住民税及び事業税	1,010	1,022
少数株主損失(△)	△10	△42
四半期純損失(△)	△216,211	△148,901

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	50,490	45,611
売上原価	42,214	44,482
売上総利益	8,276	1,129
販売費及び一般管理費	※1 129,171	※1 60,584
営業損失(△)	△120,895	△59,454
営業外収益		
受取利息	22	15
為替差益	48	—
その他	781	63
営業外収益合計	851	78
営業外費用		
支払利息	12	—
持分法による投資損失	593	—
その他	200	808
営業外費用合計	806	808
経常損失(△)	△120,850	△60,184
特別利益		
投資損失引当金戻入額	—	2,160
新株予約権戻入益	—	116
特別利益合計	—	2,276
特別損失		
固定資産廃棄損	—	23
特別損失合計	—	23
税金等調整前四半期純損失(△)	△120,850	△57,931
法人税、住民税及び事業税	505	511
少数株主損失(△)	△9	△21
四半期純損失(△)	△121,345	△58,421

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△215,211	△147,921
減価償却費	3,308	162
投資損失引当金の増減額(△は減少)	—	△2,160
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△11,400	—
受取利息	△232	△40
支払利息	131	—
為替差損益(△は益)	△498	109
持分法による投資損益(△は益)	714	—
投資事業組合等損益(△は益)	—	135
投資有価証券評価損益(△は益)	18,326	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	5,447
本社移転費用	—	9,010
売上債権の増減額(△は増加)	42,105	3,231
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,129	634
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	5,700	84,640
仕入債務の増減額(△は減少)	△20,014	△1,795
その他	3,859	25,861
<b>小計</b>	<b>△164,081</b>	<b>△22,685</b>
利息及び配当金の受取額	245	40
利息の支払額	△31	—
法人税等の支払額	△2,251	△3,140
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△166,118</b>	<b>△25,785</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△177	—
無形固定資産の取得による支出	△2,340	—
投資有価証券の売却による収入	—	3,000
株主、役員又は従業員に対する貸付による支出	—	△10,000
貸付金の回収による収入	1,115	1,126
敷金及び保証金の差入による支出	—	△3,400
敷金及び保証金の回収による収入	23,769	1,004
関係会社出資金の分配による収入	—	6,384
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>22,367</b>	<b>△1,884</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△1,668	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	32,429
少数株主への配当金の支払額	—	△74
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,668</b>	<b>32,354</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	359	△23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△145,060	4,661
現金及び現金同等物の期首残高	286,783	32,015
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 141,722	※1 36,676

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

当社グループは、前連結会計年度まで継続して営業損失、経常損失、当期純損失、及び営業活動によるキャッシュ・フローにおきまして継続してマイナスを計上しており、当第2四半期連結累計期間におきましても営業損失134,394千円、経常損失136,587千円、四半期純損失148,901千円、営業キャッシュ・フロー△25,785千円を計上するに至っております。

当社グループにおきましては、当該状況を解消すべく、安定した財務基盤の確立に向けて「事業収益の拡大」および「資産のキャッシュ化」を経営の柱として取り組んでおります。

しかしながら、現時点におきましては、未だ各種施策の実施途上であり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	バイオマーカー創薬支援事業 (千円)	創薬事業 (千円)	テーラーメイド健康管理支援事業 (千円)	投資・投資育成事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	19,750	—	13,859	16,880	—	50,490	—	50,490
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	19,750	—	13,859	16,880	—	50,490	—	50,490
営業利益又は営業損失(△)	△2,553	△271	△21,927	△11,107	—	△35,860	△85,035	△120,895

(注) 1 事業の区分は、当社ビジネス形態の特性を考慮して区分しております。

2 各区分の事業の内容

- (1) バイオマーカー創薬支援事業 …… バイオマーカーを用いた新薬開発を総合的、複合的に支援するソリューションを提供するもの。受託解析サービス、データ解析サービス、研究支援プロダクトの販売、システム構築、治験コーディネイトサービス、及び、PGx試験サポート業務。
- (2) 創薬事業 …… 自社保有の新薬候補化合物を当社のデータマイニング技術を用いて開発し、付加価値を高めていくもの。
- (3) テーラーメイド健康管理支援事業 …… 個人を対象に健康・医療市場でのサービスを提供するもの。クリニックとの提携によるDNA検査に基づく健康支援サービス、及び、健康支援プロダクト販売。
- (4) 投資・投資育成事業 …… ファンドの管理運営、営業有価証券売買等。
- (5) その他事業 …… 研究者を対象とするセミナーやフォーラム等の開催等。

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

	バイオマーカー創薬支援事業 (千円)	創薬事業 (千円)	テーラーメイド健康管理支援事業 (千円)	投資・投資育成事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	37,706	—	4,487	3,418	—	45,611	—	45,611
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	37,706	—	4,487	3,418	—	45,611	—	45,611
営業利益又は営業損失(△)	1,455	△201	△6,801	△20,550	—	△26,097	△33,357	△59,454

(注) 1 事業の区分は、当社ビジネス形態の特性を考慮して区分しております。

2 各区分の事業の内容

- (1) バイオマーカー創薬支援事業 …… バイオマーカーを用いた新薬開発を総合的、複合的に支援するソリューションを提供するもの。受託解析サービス、データ解析サービス、研究支援プロダクトの販売、システム構築、治験コーディネイトサービス、及び、PGx試験サポート業務。
- (2) 創薬事業 …… 自社保有の新薬候補化合物を当社のデータマイニング技術を用いて開発し、付加価値を高めていくもの。
- (3) テーラーメイド健康管理支援事業 …… 個人を対象に健康・医療市場でのサービスを提供するもの。クリニックとの提携によるDNA検査に基づく健康支援サービス、及び、健康支援プロダクト販売。
- (4) 投資・投資育成事業 …… ファンドの管理運営、営業有価証券売買等。
- (5) その他事業 …… 研究者を対象とするセミナーやフォーラム等の開催等。

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)

	バイオマーカー創薬支援事業 (千円)	創薬事業 (千円)	テーラーメイド健康管理支援事業 (千円)	投資・投資育成事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	101,166	—	49,046	23,057	—	173,269	—	173,269
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	101,166	—	49,046	23,057	—	173,269	—	173,269
営業利益又は営業損失(△)	5,228	△899	△37,318	△21,984	—	△54,973	△172,461	△227,435

(注) 1 事業の区分は、当社ビジネス形態の特性を考慮して区分しております。

2 各区分の事業の内容

- (1) バイオマーカー創薬支援事業 …… バイオマーカーを用いた新薬開発を総合的、複合的に支援するソリューションを提供するもの。受託解析サービス、データ解析サービス、研究支援プロダクトの販売、システム構築、治験コーディネイトサービス、及び、PGx試験サポート業務。
- (2) 創薬事業 …… 自社保有の新薬候補化合物を当社のデータマイニング技術を用いて開発し、付加価値を高めていくもの。
- (3) テーラーメイド健康管理支援事業 …… 個人を対象に健康・医療市場でのサービスを提供するもの。クリニックとの提携によるDNA検査に基づく健康支援サービス、及び、健康支援プロダクト販売。
- (4) 投資・投資育成事業 …… ファンドの管理運営、営業有価証券売買等。
- (5) その他事業 …… 研究者を対象とするセミナーやフォーラム等の開催等。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

	バイオマーカー創薬支援事業 (千円)	創薬事業 (千円)	テーラーメイド健康管理支援事業 (千円)	投資・投資育成事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	79,816	—	4,487	51,279	—	135,583	—	135,583
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	79,816	—	4,487	51,279	—	135,583	—	135,583
営業利益又は営業損失(△)	7,917	△260	△12,769	△46,258	—	△51,370	△83,023	△134,394

(注) 1 事業の区分は、当社ビジネス形態の特性を考慮して区分しております。

2 各区分の事業の内容

- (1) バイオマーカー創薬支援事業 …… バイオマーカーを用いた新薬開発を総合的、複合的に支援するソリューションを提供するもの。受託解析サービス、データ解析サービス、研究支援プロダクトの販売、システム構築、治験コーディネイトサービス、及び、PGx試験サポート業務。
- (2) 創薬事業 …… 自社保有の新薬候補化合物を当社のデータマイニング技術を用いて開発し、付加価値を高めていくもの。
- (3) テーラーメイド健康管理支援事業 …… 個人を対象に健康・医療市場でのサービスを提供するもの。クリニックとの提携によるDNA検査に基づく健康支援サービス、及び、健康支援プロダクト販売。
- (4) 投資・投資育成事業 …… ファンドの管理運営、営業有価証券売買等。
- (5) その他事業 …… 研究者を対象とするセミナーやフォーラム等の開催等。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はありませんので、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

	アジア	計
I 海外売上高(千円)	44,745	44,745
II 連結売上高(千円)	—	135,583
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	33.0	33.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第2四半期連結会計期間において新株予約権及びストック・オプションの一部行使による払い込みを、下記内容にて受けております。

(単位：千円)

種類	権利行使者	権利行使日	資本金	資本剰余金
新株予約権	Evolution Master Fund LP	平成22年4月15日	15,226	15,226
ストック・オプション	安岡 博之	平成22年5月14日	2,022	2,022
合計			17,248	17,248